

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本プラパレット株式会社							
代表者名	氏名	木村 聡	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県上田市富士山2412-9							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	3293 パレット製造業						
主たる事業の概要	プラスチックパレットの製造、販売							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	6122	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	2	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

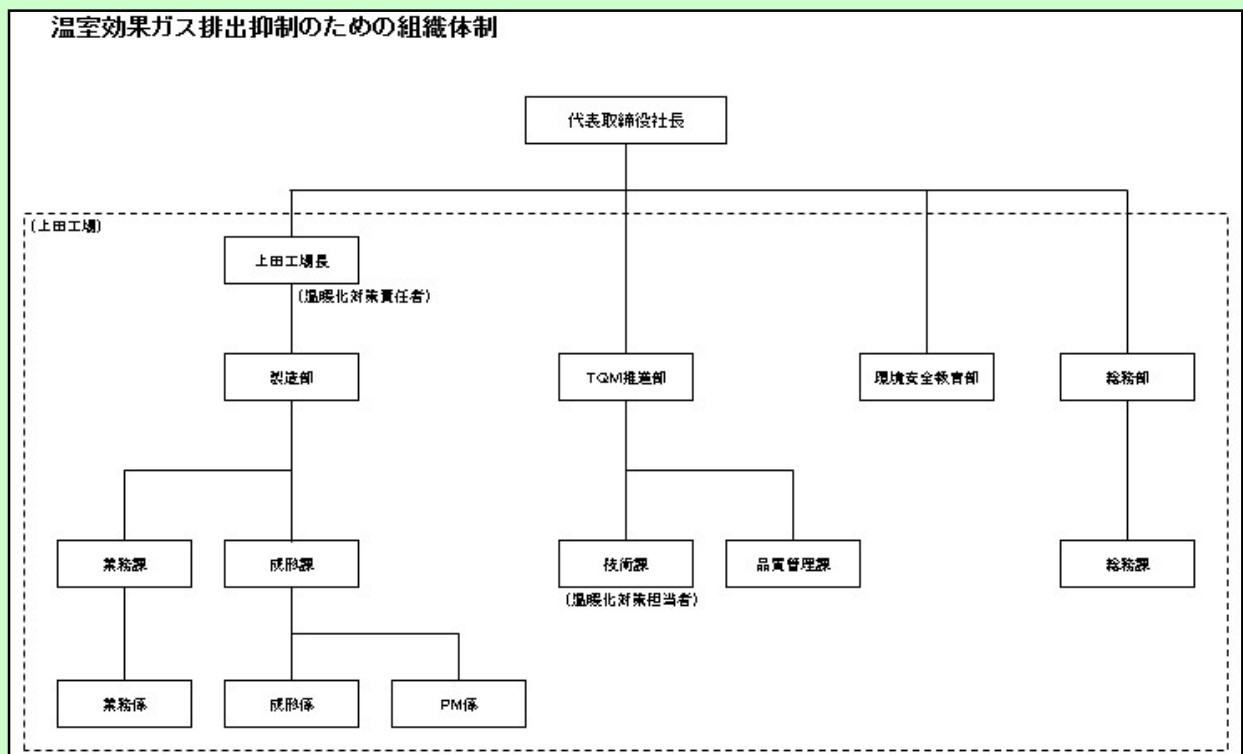
<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	平日AM10:00-16:00、TQM推進部技術課まで
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネルギー、廃棄物等の削減の為、目的、目標を設定し、毎年見直しをして、環境改善を図ります。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	9,941	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	21	単位	千t	
25年度	調整後排出量	7,283	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	469.93	t-CO <sub>2</sub> /	千t	
目標年度	目標排出量	9,600	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	450.00	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.43	%	目標削減率	4.24	%		
目標設定に関する説明	生産数量は基準年度より増産されると見込み25千tと設定し、排出量は生産効率の良い設備を稼働させる工程組み、出荷状況に合わせた生産機運転方法を構築させる。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	10,745	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	22.8	単位	千t	
	調整後排出量	10,664	t-CO <sub>2</sub>	原単位	471.00	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	(8.09)	%	削減率	(0.23)	%		
排出量等の増減理由	11月～1月の予定通りの販売量が見込めず、在庫数量を減らす為、生産設備を停止した。							
第二年度	排出量	10,310	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	18.56	単位	千t	
	調整後排出量	10,251	t-CO <sub>2</sub>	原単位	555.50	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	(3.72)	%	削減率	(18.21)	%		
排出量等の増減理由	生産数量減少により、下期は予定生産数量の生産が出来なかった。又、生産品目の構成により、原単位の悪い生産品目の生産が増えた。							
第三年度	排出量	12,854	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	25.50	単位	千t	
	調整後排出量	12,757	t-CO <sub>2</sub>	原単位	504.14	t-CO <sub>2</sub> /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	(29.31)	%	削減率	(7.28)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	第二年度の平成27年に計画した生産数量で生産活動が行えない。省エネ生産設備を使用した生産活動も行えない。生産品目の構成で生産効率の悪い設備での生産を行っていた為、基準年度からの目標値を達成出来なかった。生産構成は省ロット、多品種が主であり、銘柄変更での歩留まりが大きく影響している。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3.2	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	3.8	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-18.75	%
26年度						
排出量等の増減理由	展示会出展用の製品をトラック輸送せずに社用車を使用した為に増える					
第二年度	排出量	4.6	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-43.75	%
27年度						
排出量等の増減理由	佐野工場、東京営業部への出張、製品の搬送にも社用車を使用している為に増える。					
第三年度	排出量	6.9	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-115.63	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	平成27年度と同じく、佐野工場、東京営業部への出張、ユーザーへの製品の搬送にも社用車を使用している為に増える。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	310500 生産工程のエネルギー管理	26	500		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	KW	634	0	634	634	634

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	2658		81	59	97
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	9,941	1	10,745	1	10,310	1	12,854
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	9,941	1	10,745	1	10,310	1	12,854

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他	2	2	2	2
合計	2	2	2	2
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	100%
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001 登録番号E0376	2003年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品の開発</li> <li>廃棄物の廃棄量の削減</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品の開発</li> <li>廃棄物の廃棄量の削減</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル原料の積極的利用</li> <li>廃棄物の廃棄量の削減</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル原料の積極的な利用</li> <li>環境に配慮した製品の開発</li> <li>廃棄物の廃棄量の削減</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	・圧縮機の台数制御・再冷水設備ポンプインバータ制御	1,000
その他	特になし	